

『みちとなつ』

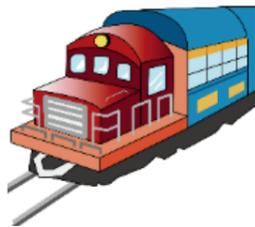
杉田 比呂美／さく
福音館書店



おおきなまちのマンションにすんでいるのがみち。たからものはハートがたの石です。うみべのちいさなまちにすんでいるのがなつ。たからものはまるくなったガラスです。ふたりはまだ、おたがいのことをしりません。なつやすみ、みちはうみべのまちにあそびにいくと、たからものを通じてなつとともだちになりました。

『なりきりマイケルのきかんしゃりょうこう』

ルイス・スロボドキン／さく
こみや ゆう／やく
出版ワークス



わたしがしずかにしんぶんをよんでいると、むすこのマイケルがさんりんしゃにのってろうかへでていきます。するととつぜん、ものすごい音がきこえました。大きなきかんしゃがわたしのいるへやにのりこんできました。そしてそのきかんしゃの運転手は、さんりんしゃにのっていたはずのマイケルだったのです。

『ヤマネコとアザラシちょうさだん』

五十嵐 美和子／作・絵
PHP研究所



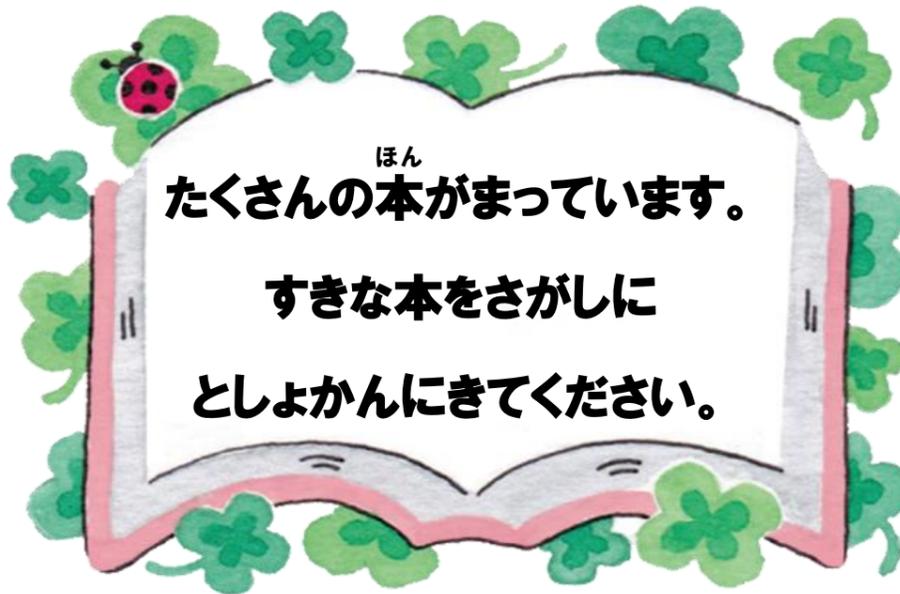
たおれていたアザラシをたすけたおじさんは、ふしぎなえと、もじのかかれたかみをみせられます。しかし、アザラシごがわかりません。そこで、せかいじゅうのことばやどうぶつのことばがわかるヤマネコにそうだんします。そのかみはうみのゴミにこまっていたアザラシたちのかんがえた、「ウミキレイ」というきかいのせつめいしよだったのです。



2022年とんだばやしりつとしょかんから

ねんせい
1ねんせい・2年生のみなさんへ

なつのおてがみ



SDGs(エスディー・ジーズ)とは、環境や社会など、よりよい未来にむかって行動していくための目標のことです。

環境省 HP「子ども向け ESP・SDGs パンフレット」より要約

『けんかのたね』

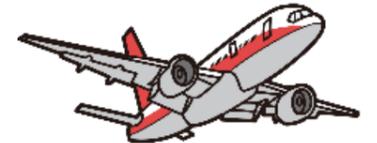
ラッセル・ホーバン／作
小宮 由／訳
大野 八生／絵
岩波書店



ある日、お父さんがくたびれて帰ってくると、家の中はおおさわぎでした。いぬとねこがけんかをし、4人の子どもたちも、たたきあったりわめきあったりしています。お母さんが「やめなさい！」と大声でさけんでも子どもたちはけんかをやめません。お父さんは子どもたちのはなしをきき、けんかのたねをさがします。

『そらをとぶのりものえほん』

秋本 俊二／監修
スタジオタッククリエイティブ



みなさんはそらをとぶのりものときいてどんなものを思い出しますか。このほんには、ひこうきだけでなくヘリコプターやグライダーやうちゅうせん、ききゅうなどについてもくわしく書かれています。また、パイロットや管制官などのそらにかんけいするしごとについても書かれていますので、きょうみのあるひとはぜひよんでください。

『きみのなまえ』

あんず ゆき／作
かなざわ まゆこ／絵
佼成出版社



たくとお母さんは、学校からのかえりみちにある林でくらす犬をかうことにしました。はりがみをして、犬を家につれて来られるよう、みんなにきょうりよくをおねがいました。が、なかなかうまくいきません。はたして、犬はたくとの家に来てくれるのでしょうか。そして、この本のタイトルにもなっている「きみのなまえ」とは？

『おいしい！ふしぎ！理科実験スイーツ ねばる・かたまる 和スイーツ』

WILLこども知育研究所／編著
ダンノ マリコ／著
金の星社



たべものをあたためたり、まぜたりすることで、かたまったり、色がかわたりします。りょうりって、りかのじっけんにています。このほんでは、スイーツをつくるときにおこるふしぎなへんかと、そのりゆうがせつめいされています。ほんをよみながらおいしいおやつをつくって、りかのべんきょうもしましょう。

『みてみて！クオッカ 世界いちしあわせなどうぶつ』

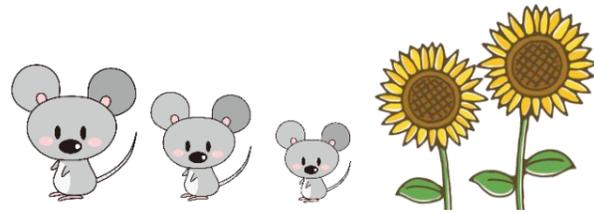
福田 豊文／写真
なかの ひろみ／文
ほるが出版



クオッカという動物を知っていますか？クオッカはカンガルーのなかまで、おたんじょうびが1年に2回もある、とてもめずらしいどうぶつです。きゅっと上がった口元がにっこりわらってみえるから、世界いちしあわせなどうぶつとよばれています。日本には6頭しかいません。うらびょうしのえかきうたを歌いながら、クオッカをみんなでかいてみよう。

『野ねずみきょうだいの草花あそび 初夏から秋まで』

相澤 悦子／さく
長谷川 直子／え
福音館書店



野ねずみのきょうだいたちがやくにたつ草をあつめに出かけました。ドクダミをさいたら天使に、オシロイバナを切ったらかわいい女の子になりました！ほかにもたくさん草花のあそびかたがしょうかいされています。みんなもマネしてみてください。花だんやにわの草花をつかいたいときは、育てている人にもらっていいかきいてからあそんでね。

『観察！いきものたちの夜のすがた』

①夜に走る、夜に飛ぶ動物たち』

成島 悦雄／監修
汐文社



夜のせかいへようこそ。人がねむっているあいだに元気にうごきまわる動物って、どれくらいいるのかな？ライオン、ムササビ、コウモリ、ハムスター、たくさんの動物が夜におきています。この本は、1巻では動物、2巻では魚、3巻では植物の夜のすがたがしょうかいされています。ナイトツアーに行つて、たしかめたくなるね。

『石ころのスープ トルコのおはなし』

ジュディス・マリカ・リバーマン／文
ゼイネップ・オザタライ／絵
こだま ともこ／訳
光村教育図書



けちけち村では、おなかをすかせたひとがきても、食べ物をわけずにおいかえしてしまいます。そこで、あるたびびとは、石ころをつかってスープをつくってみせることにしました。うたいながら火にかけていると、むらびとがあつまってきます。たびびとのちえでできあがったスープ。おいしさのひけつは、いったいなんでしょうか。



『あまがえるのぼうけん』

たての ひろし／作
かわしま はるこ／絵
世界文化社



ラッタ、チモ、アルノーはなかよしのあまがえる。あるひ、アルノーがもりにいきたいといひます。もりでは、はっぱのマントやどんぐりのぼうしをみつけておおはしゃぎ。でもとつぜん、やぶきりにおそわれたりひきがえるにたべられそうになったり、3びきはとうとうなきだしてしまいます。はじめてのたんけんのおはなしです。